

登録

金沢しぐさ



金沢には、
人への優しい心くぼりや
しぐさがあります。



登録

金沢しぐさとは

金沢の人が昔から伝えてきた
人への優しい心くぼりやしぐさのことです。

金沢市では、今の時代にも伝えていきたいしぐさを

“金沢しぐさ”として登録し、しぐさのよさを再確認することで
思いやりの心を育んでいきたいと考えています。

今回紹介するもののほかにも、金沢には思いやりの心が表れた
“金沢しぐさ”がたくさんあります。

金沢に暮らす方も、初めて金沢を訪れる方も
金沢に生きる“金沢しぐさ”にぜひ触れてみてください。

金沢市・金沢しぐさ検討懇話会

金沢しぐさ

おしながき

金沢ことば

季節の行事菓子

5つの心くぼり

一、おもてなし

二、おすそわけ

三、お道忘れ

四、およげれ

五、おもいやり

金沢ことば

— もてなし言葉 —

— 思いやり言葉 —

しぐさに伴う、きれいな金沢弁によることも残したいものです。
やわらかで抑揚のある金沢ことばには、
相手への感謝・尊敬の気持ちが込められています。

◆ おいだすばせ (よくお越しになりました)

◆ おあいそなしで (お構いもしませんで)

◆ ごせつかく (どうぞお仕事をお続け下さい、それではまた)

◆ あんやと (ありがとう)

◆ おきのどくな (これは申し訳ない、ありがとう)

など

季節の行事菓子

季節の行事菓子も残したいものの一つです。

お正月や桃の節句、婚礼の儀式など、

日々の生活の節目を愛らしい菓子で彩ります。

福梅
(お正月)



金花糖
(桃の節句)



氷室饅頭
(7月1日)



五色生菓子
(婚礼)



金沢21世紀美術館



“金沢しぐさ”から広がる

人と人とのいい関係…

金沢もてなしドーム



詳しくは金沢しぐさホームページを
ご覧ください。

金沢しぐさ

検索

クリック

制作：金沢市・金沢しぐさ検討懇話会



5つの心くばり

心が自然と所作となつて表れる。金沢しぐさ。そこには、金沢の人々の人や自然に対する思いやりや尊敬のこころが表れています。

おもてなし

季節に応じた
日常のさりげない心くばりを
大切にしたいですね。



- 予定された来客には、玄関に打ち水をして、お迎えします。
(打ち水にはお清めの意味があり、夏の夕暮れには涼しさをもたらします。)
- 季節感を大切にした住まいのしつらえをして暮らし、お客様をお迎えします。
(障子、簾戸、のれん、座布団などの室内のしつらえ)

おすそわけ

人と分かち合う気持ちや
人とのつながりを
大切にすることが大切です。



かぶらすし

- 頂き物や作った料理などを近所や知人に
おすそわけします。
(お余力ではなく、おすそわけのために多めに作ります。)

お道忘れ

お招きしたお客さまには
ほんの一言の
心くばりを添えて…



らくがん

- 不意の客でお菓子の用意がない時、来客者からの頂き物の
お菓子を「お道忘れですが、どうぞ」と出す場合があります。
(お茶にそえるお菓子は、銘々盆に二つ折りの半紙二枚に
のせて出します。)
- (お帰りの時、この半紙に包んでお持たせします。)

およばれ

金沢に古くから伝わる
習慣です。



べろべろ(えびす)

- お祭りなどのときに、金沢の「およばれ」の料理をつくり
祝います。
(金沢には「およばれ」という祝い事やお祭りのときに、
各自の家に招いたり招かれたりしてご馳走する習慣が
あります。)

おもいやり

相手を思い、
敬う気持ちをもって
日々を過ごしたいですね。



- 雪道の一本道や歩道での譲り合い
- 雪吊りをして、庭木を守るとともに、道を通る人に
冬の風情を味わっていただきます。
- 家の前の雪かきは、お隣りの前もさりげなく、
お手伝いしたいものです。